

内分泌・代謝学 共同利用・共同研究拠点セミナー
生活習慣病解析プロジェクト共催

海外に通用する分かり易い 英論文・口頭発表のコツ

～バイリンガル研究者からのアドバイス～

日時：令和2年10月23日（金）16:00～17:00

講演（研究所1F会議室）およびZOOMによる開催

ポピエル ヘレナ 明子 先生

東京医科大学 国際医学情報学 助教

研究者がキャリアを積むためには、自身の研究結果を英語の論文として世に出し、国際学会にて英語で発表することは必要不可欠です。しかし、英語が母語でない日本人研究者は、これらを大きな難関、及びストレスに感じる人が多いと思います。

私は英日のバイリンガルであり、日本で生命科学系の研究を長年行った後、現在は生命科学・医学論文の校閲、さらに英語の論文執筆・口頭発表などの教育を専門として行っています。

本セミナーでは、私自身が研究の世界で論文執筆や発表を行った経験や、日本人研究者の方々の苦勞を間近でみてきたことから感じた、英語の論文執筆や口頭発表を行うにあたってのアドバイスを、分かり易く日本語でお話しできればと思います。

略歴 英国ブリストル大学卒業、京都大学薬学修士・博士、大阪大学医学部、国立精神神経医療研究センター研究員を経て、現職

担当：生体調節研究所 分子糖代謝制御分野 藤谷与士夫

ポピエル先生には、英文校閲でお世話になっております。先生は研究歴も本格的で、ゴードン会議で何度も発表されておられます。これから論文を書く若い研究者、学生を指導する立場にある教員の先生方にもひろく御参加いただけましたら幸いです。

所属、氏名、セミナー開催日を明記の上、下記アドレスまでメールでお申し込みください。申込者には、ZOOMミーティングURLをお知らせします（生体調節研究所の方は申込は不要です）また、**会議室での聴講希望者はその旨記載下さい。** 連絡先 E-mail: fujitani@gunma-u.ac.jp